

## ブンカの交流館 ニュース 知 楽 学 劇 伝 成 鑑 遊

# 「ブンカの交流館」講師を募集!!

お待たせいたしました!! カルチャースクール「ブンカの交流館」より平成20年度の講師募集の案内です。「ブンカの交流館」では、平成20年度の講師(講座や教室を開講希望の方)を募集し、説明会を開催することが決まりました。下記の3日間のうち、いずれかにご参加ください。時間はそれぞれ1時間半程度です。

①4月29日(祝・火)15:00~ ②5月2日(金)19:00~ ③5月12日(月)15:00~

いずれも会場は、松阪市市民活動センター大会議室です。  
説明会への申し込み方法はE-mailで、件名を「ブンカの交流館講師説明会参加希望」とし、「住所・氏名・TEL・講座内容」をご連絡ください。お電話でも結構です。※各日程の前日まで受付です。

【申し込み・問い合わせ】  
ブンカの交流館事務局  
E-mail info@m-bridge.jp  
TEL 0598-26-0108 (担当/濱田)

詳細はお問合せください。

～平成20年度「ブンカの交流館」概要～

空き店舗を活用した、まちづくり型カルチャースクール「ブンカの交流館」。昨年度は一般公募の講師により、31講座開催され約300人の方が受講されました。会場(教室)は今年度も松阪駅前ベルタウンの2階で、開講日程は平成20年の7月から平成21年の3月末までとしています(その後継続予定です)。今年度の募集も講師経験のあるなしに関わらず、広く一般の方から募集いたしますので、是非ご参加ください。

## 読者のみなさまへ 誰でもカンタン! ネットを使って情報発信! 地域SNS「松阪ベルネット」講習会参加者募集

市民活動をやっている人、やりたい人を応援する便利な仕組みの地域SNS「松阪ベルネット」を使ってみませんか? 自分たちの活動をたくさんの人に知ってもらいたい! 同じような思いを持つ人と交流してみたい! でも、実際はなかなか大変...インターネットって難しそう...と思っ

【日 時】平成20年5月12日(月) 【昼の部】14:00~15:30 【夜の部】19:00~20:30

【会 場】松阪市市民活動センター 大会議室

【内 容】「松阪ベルネット」の使い方、活用方法の紹介

【対 象】どなたでもご参加いただけます。

【締め切り】5月9日(金) ※昼・夜とも、定員20名で締切ります。

【お問合せ】松阪市役所 政策課  
電話 0598-53-4314 または 0598-53-4316

参加無料!

## 読者のみなさまへ 文化カシンポジウムの参加者募集

三重県では、多様な主体の互いの力を引き出したり、地域の資源や特色を生かす「文化力」を政策のベースとして取り組んでいます。「文化力」への理解を深めることを目的に、静岡文化芸術大学学長の川勝平太(かわかつへいた)さんによる基調講演と、川勝さん、四日市大学教授の岩崎恭典(いわさきやすのり)さん、高校生レストラン「まごの店」の運営に関わっておられる県立相可高等学校教諭の村林新吾(むらばやししんご)さんほかによるパネルディスカッションを行います。入場無料ですが、事前申込が必要です。

【日 時】平成20年5月31日(土)

【会 場】松阪グリーンホテル2階松・梅の間

【募集人数】150人程度

【募集期間】5月23日(金)

【お問合せ】三重県政策部企画室  
電話 059-224-2062  
メール kikakuk@pref.mie.jp

## おすすめ書籍紹介 書籍の森

### 「カフェ」と「街」とのいい関係

カフェ、好きですか? コーヒーのいい香りや程よい接客、洒落た店内...。私は人恋しくなるとカフェに行きます。友人と話したい時、カフェに誘います。お店の人の情報交換もあれば、常連さんと仲良くなることも。耳を澄ませば、多様な話題が聞こえてきます。街のこと、家庭のこと、趣味や世相や持論について。自然発生的なコミュニティが失われてきている街の中で、カフェは、「他人とじっくり話し合うことの出来る数少ない社交の場」という魅力を持っています。今回は、そんな「カフェ」と「街」の関係について考える本をご紹介します。

作ろうみんなの書籍の森

ご協力ありがとうございます。  
引き続き書籍の寄贈を募集中です。

松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。  
【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

高齢者の健康や孤独を支えるレストラン、心を病む人の自立と居場所づくり、子育てのサポートをするカフェ...「人が集まりホッとできる場をつくりたい」というあなたにおすすめです。

### 日本一カフェで街を変える男

佐藤裕久

「本当に街に必要とされる食の施設とは?」「人」の心をつなぎ、「街」と共に時を刻む店を創ろうとする「ビジネスの視点」は、コミュニティビジネスを志す方におすすめです。

### ワールド・カフェ カフェ的会話が未来を創る

アニータブラウン&デイビッドアイザックス、ワールド・カフェ・コミュニティ

ワールド・カフェとは、話し合いの手法。一番欲しくて一番得にくい「みんなの合意」を得るためのプロセスと実践例。課題解決のための話し合いを成功させたい方におすすめです。

### 文字と文字の隙間を縫う...チラッと編集後記

当センターのイメージキャラクター「マツハくん」、「ミライちゃん」、「モータ」が早いもので、この4月で満1才となりました!(パチパチパチ) この1年の間にセンターパンフレットや、本紙AROMAを始め、「だから、市民活動!」でテレビ出演も果たし、更にミズ・ネットワーク主催の「第2回松阪まちなかお雛さま祭り」ではお雛さま姿も披露する等、スター街道まっしぐら(?)です。「彼らに負けぬよう精進せねば!」と誓うのは、私と隠れキャラ的扱いのスズノ博士です。【S】

スズノ博士

## センターからのお知らせ

休館のお知らせ

下記の日程で休館日とさせていただきます。

2008年5月3日(土)~6日(火)

## AROMA

松阪発信!! 市民活動の情報紙〜 AROMA

次回発行は6月中旬頃です。 募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「AROMA掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2008年5月31日(土)です。 担当/澤・北西

## 松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜~土曜日/10:00~22:00

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

会議室	大会議室...机 10 椅子 30 (600円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
小会議室 1...机 4 椅子 12 (150円)	小会議室 2...机 6 椅子 18 (200円)	小会議室 3...机 4 椅子 12 (150円)	他
小会議室 4...机 8 椅子 24 (400円)	外会議室...机 8 椅子 24 (400円)	利用申込	申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

利用 料金は1時間。大中小会議室の組み合わせ可。

情報提供

松阪市市民活動センターホームページ http://www.katsudou.com

市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/

市民活動情報サイト(携帯版) http://genki365.net/gnkm/i/

\*ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。

交通駐車

## 松阪発信!! 市民活動の情報紙〜 AROMA

発行...松阪市市民活動センター  
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F  
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00

TEL 0598-25-3801 ▲予約専用  
0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

AROMA A Resident Of Matsusaka Activity No.16

## ちよっと気になる 団遊

今回取材させていただいたのは...  
【UDうれしの】さんです

### すべての人に住み良いまちを願う

「ユニバーサルデザイン=Universal Design(※1)」という言葉や考え方をご存知の方も多いただろう。しかし「バリアフリー」という言葉や考え方に比べれば、まだまだ認知度は低いように感じられる。ユニバーサルデザインは、障がいを持った人や、高齢者といった社会生活弱者にとって物理的な障害や障壁を取り除くための施策であるバリアフリーから、更に一歩進み「誰もが安全で快適に暮らせるまちをデザインする」という考え方で「UD」と略されることも多い。今回取材させていただいた「UDうれしの」さんは、その名の示す通り、ユニバーサルデザインという視点を軸に、防災・環境・福祉など多方面からまちづくりの活動をしている団体だ。「私達の活動に参加してくださった方達の意見や感想を、市や県に提言しています。今すぐにはいかないでしょうが、今後のまちづくりに活かしていただければ嬉しいですね」と、代表の安部悦子(あべえつこ)さんは話す。この言葉の中には自分達の住むまちを、より良く変えていきたいという願いが込められているようだ。

※1【ユニバーサルデザイン】  
「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。この言葉や考え方は1980年代にアメリカ、ノースカロライナ州立大学のロナルド・メイスイ氏によって明確にされた。

### 地元地域での取り組み

今年3月「公園に桜を植えよう!」と題した地元防災公園での体験イベントを、UDうれしの主催で実施した。この公園には普段スツール(背もたれのない腰掛け)として使用出来る「かまど」や、マンホール型の非常用トイレなどが設置されている。「自分達の住むまちにある防災公園を知ってもらうこと」、「設備の位置、使用の際の問題点などの意見交換」、また「参加者が桜を植樹することで地元に対する愛着を持ってもらうこと」を目的に開催したイベントだ。参加者募集のため、地元自治会にも要請し、小学校等へのチラシ配布にも力を入れた。その結果40~50人ほどの参加者見込みを大きく上回る100人規模のイベントとなった。ボーイスカウトのリーダーを招き、植樹の他にも、かまどを使った火起こし体験、人命救助の際にも役立つロープ結び体験と内容も充実。「かまどでぜんざいを作ったんですが、お餅がたらなくなるほどの参加人数に驚きました。小さなお子さん達も多く、楽しそうな笑顔がとても印象的でした」と話す安部さんの表情も一層明るくなる。こうした地域に密着した活動は、地元住人の意識啓蒙にも繋がるだろう。

### 自治会・学校・行政との連携

地元密着した市民活動の力は地域の課題解決にも有効な手段のひとつだ。先のイベントだけでなく、まちかどウォッチング等、UDうれしのと地元自治会や学校、行政等は上手く連携している。地域の生の声を、市や県の担当者に直接伝える事で、よりスムーズな連携が行なわれているようだ。こうした生の声は今後のまちづくりにとって、貴重な情報や意見になるのではないだろうか。植樹や防災トイレ説明等のイベントに、地元の自治会長が積極的に参加される等、こうした取組みに対する地域の関心の高さがうかがえる。UDうれしのは今後、自治会や地元企業など、地域に向けてユニバーサルデザインについての出前講座ができないか検討しているという。すでに、小学校では「学校UD」と称し、盲導犬ユーザーを招いてワークショップを実施するなど、団体の持つ知識やネットワークを活かして活動している。イベントや出前講座といった活動を積み重ねていくことで、ユニバーサルデザインに対する理解や認知度が広がれば、より円滑に「すべての人に住みよいまちづくり」を進めることができるだろう。

### 「書いて伝える文章講座」が更に充実！新たに2講座が開講決定！



「書いて伝える文章講座」～その6～  
描いて伝えるチラシ講座

**一色で勝負!**

NPOや市民活動に携わる人達に朗報です！  
イベント開催の告知、またメンバー募集などのチラシを作る上で「プロに頼みたいけどお金がないから…」、「チラシはカラーじゃなきゃ目立たない」といった言葉をよく耳にします。ですが、本当にそうなのでしょうか？モノクロ1色でも、効果的なチラシがご自分で作ればどうでしょう。そのちょっとしたコツをこの講座でご紹介いたします。

【内 容】・モノクロコピー機・輪転機で作るチラシのコツ  
・パソコンに頼らないチラシ作り  
・意外にカンタン レイアウトの基本  
・話めかみ注意！余白の活かし方 などなど

【講 師】アトリエアートマン代表：澤卓哉  
【日 時】2008年5月20日(火) 19:00～20:30  
【受講料】社会人2,000円／学生100円

【定 員】上記2講座ともに20名 ※定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。  
【両講座のお申し込み】◎E-mailかお電話でお申し込みください。  
E-mailの場合、件名を「描いて伝えるチラシ講座申込み」または「書いて伝える企画書講座申込み」とし、『お名前』『ご住所』『年齢』『性別』『職業(または学年)』『当日連絡のとれる電話番号』を明記の上、下記アドレスに送信してください。お電話でも受け付け可能です。

Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp TEL 0598-26-0108

※上記の2講座の受講料は、実費を除く全額をまちづくり事業の運営費に活用させていただきます。本年度は学生のNPO活動支援を予定しております。お預かりする受講料がサポート費(寄付金)となる「支え合らしくみづくり」になればと考え、実験的に実施いたします。受講いただく方は「この講座内容に興味がある方」でありつつ、「まちづくり事業をサポートすることに賛同いただける方」に限らせていただきます。皆様のご参加、ご協力をお待ちしております。  
※受付後のキャンセルは出来ません。万が一、受講いただけない場合でも同額のキャンセル料の請求をさせていただくこととなりますので予めご了承ください。

「書いて伝える文章講座」～その7～  
**キカクカク?**  
**助成金獲得のための企画書のツボ**

助成金の申請をするとき「この企画書で本当に大丈夫かな?」と、一人で頭を抱えた経験はありませんか? 学校でも、社会に出ても「企画書の書き方」なんてなかなか教えてくれませんか。この講座は、今まで助成金の申請をしたことがない市民活動団体や、何度も申請しているが採択されない方を主な対象にいたします。

【内 容】なるほど・① 文部科学省 委託事業の採用企画書を公開! なるほど・② 募集要項のココを見落とすな! なるほど・③ この助成金を申請してみよう!

【講 師】～正義の企画～ チャンネルM:米山テツ  
【日 時】2008年6月17日(火) 18:59～20:45  
【受講料】社会人5,000円／学生100円

【定 員】上記両講座ともに20名 ※定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。  
【両講座のお申し込み】◎E-mailかお電話でお申し込みください。  
E-mailの場合、件名を「描いて伝えるチラシ講座申込み」または「書いて伝える企画書講座申込み」とし、『お名前』『ご住所』『年齢』『性別』『職業(または学年)』『当日連絡のとれる電話番号』を明記の上、下記アドレスに送信してください。お電話でも受け付け可能です。

## フリーマーケット情報配信サービス

受信を希望するパソコン(または携帯電話)のアドレスから  
・件名…「フリマ情報受信希望」・本文…「氏名、住所、TEL」  
を下記に送信してください。  
info@m-bridge.jp  
折り返し、「登録完了」のメールを送信いたします。  
出店はご都合の良い時だけでOKですので、お気軽にご登録くださいね。

(※)3Rとは環境省が推進する取組みで、リデュース(廃棄物の発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)の3つのRのことです。

【報告書】▶ 今回のNPO法人ひとくちメモ、「ひとくちmemonpo!!(メモンポツ)」は「報告書」についてお話しします。報告書というものは、活動してきた内容や活動した結果などを第三者に教えるためのもの…だけではなく、自身の活動記録にも役立つことも多いですよ。「あれ～? 前回どうだったっけ?」なんて会話にも一目瞭然!!活動してきたことを前向きに振り返り、より良い事業にも発展できることでしょ。それには、日々のメモも必要。簡単な項目を作っておいて、その項目に従ってメモをしていく。ちょっとしたことですが、後で結構役立ちますよ。報告書の書き方などは、前回お知らせしました「CSRレポート」が参考になります。当センターには、235社のCSRレポートが集まっていますので、是非一度ご覧ください。

第11回 NPO川柳

今が旬? ご当地検定 取り入れる?

匿名希望さん  
流行ものは活きの良いうちに取り入れたらいいものですね?に迷いが感じられます(笑)

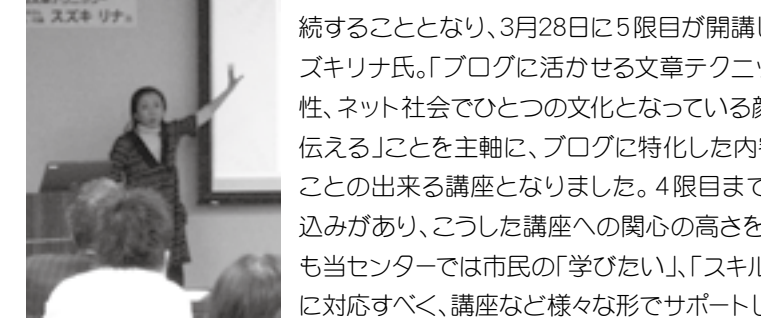
匿名希望さん  
受け流すに発言していただき、よく!笑  
あなたの言葉が明日を変えられます!

匿名希望さん  
さてさてこのコーナーも早いもので11回を数えました。今回は紙面の都合上この作品のみをご紹介します。NPO川柳は更なる飛躍に向け今後引き続き皆様からの作品を語りたいと思います!

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎)【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、左記をメールで送信ください。①句(未発表作品に限ります。複数応募可) ②氏名(匿名、筆名でも可) ③住所、電話番号【発表】katsudou@ma.mctv.ne.jp【締切】平成20年5月31日 必着【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて。曾ほもごさいませんが、嬉しい願いを川柳で表し伝えて交流しましょう!

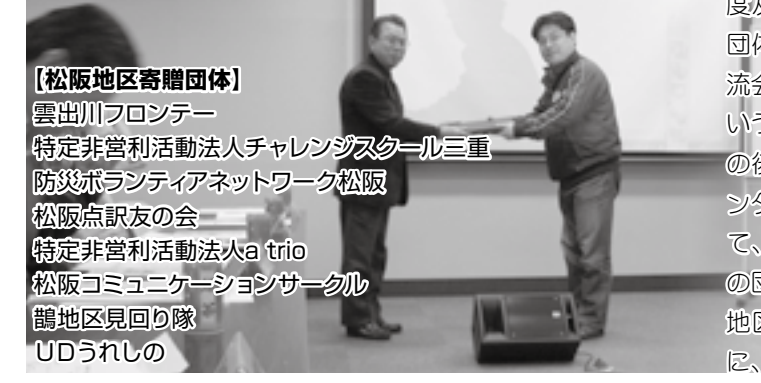
※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市民活動センターに帰属するものといたします。 ※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。

## 好評につき継続！書いて伝える文章講座 ～5限目～を開講しました



～あなたの「もっと伝えたい」「もっと広めたい」を応援します～をコンセプトに、2月に実施された「伝える力・スキルアップ講座」。その中の「書いて伝える文章講座」が、好評につき単独事業として継続することとなり、3月28日に5限目が開講しました。今回の講師は「かけるWEBやさん リナゾーコム」代表のスズキリナ氏。「ブログに活かせる文章テクニック」と題して、ブログを使った情報発信のコツや、タイトルの重要性、ネット社会でひとつの文化となっている顔文字に至るまで、「書いて伝える」ことを軸に、ブログに特化した内容を、多様な角度から聞くことの出来る講座となりました。4限目までと同様に定員を上回る申込みがあり、こうした講座への関心の高さを改めて実感しました。今後も当センターでは市民の「学びたい」、「スキルアップしたい」という熱意に対応すべく、講座など様々な形でサポートしていく考えです。

## リユースパソコンの寄贈式が開催されました



【松阪地区区寄贈団体】雲出川フロンテア 特定非営利活動法人チャレンジスクール三重 防災ボランティアネットワーク松阪 松阪点訳友の会 特定非営利活動法人a trio 松阪コミュニケーションサークル 鶴地区見回り隊 UDうれしの

いせ・松阪・伊賀イーパーツリユースパソコン寄贈プログラムの寄贈式及び交流イベントが、3月1日(土)に、松阪市民活動センターを含む各市民活動センターで開催されました。申請団体に対して、PC有効利用度及び活動公益性の視点から厳正な選考が行われ、松阪地区では、8団体に対して合計12台のリユースPCが寄贈されました。寄贈式後の交流会では【「ITをどう使う?」～ITを活用した団体運営について～】という課題のもと、和やかな雰囲気で見聞交換が行われました。交流会の後半部分では、今回から新しい試みとして、各市民活動センターをインターネットで繋ぎ、ウェブミーティング(インターネット会議)によって、各会場間でも交流の場を設定し、画面の向こうにいる団体と自らの団体の取り組みや、運営の課題などを話し合うことができました。三地区合わせて20団体以上が参加したリユースパソコン寄贈式を契機に、インターネット上でも交流の輪が広がっていくことを願っています。

## 「アピ×サポ計画」で街に賑わいを

3月9日、駅前通り商店街ベルタウンの28周年事業に合わせ、市民活動フリーマーケットが開催されました。まだ肌寒い時期でしたが、参加団体の協力もあり、多くの来場者に恵まれたイベントとなりました。今年で2回目となるこのフリーマーケットは、昨年度より当センターが推進する「アピ×サポ計画(アピール・サポート推進計画)」によるもの。この事業の趣旨に賛同いただいた、地元商店街と市民活動団体に活動発表やPRの場を提供し、参加団体は街の賑わいや、商店街のイメージアップに貢献するというように、互いが支え合う仕組みとなっています。今年度もセンターでは様々な場所、形態で、市民活動団体と地元企業等とを結び、アピ×サポ計画を実施していく考えです。



## 登録団体交流会開催のお知らせ

市民活動センターに登録している団体が、一同に会する交流会です。市民活動というキーワードで繋がっている団体同士、自分達の活動や運営などを話題に、この機会に交流してみませんか? 他団体の意見を聞くことで、自らの活動に活かせたり、思ってもみなかった協働プロジェクトが始まるかもしれません。団体同士の出会いの場でもある団体交流会に是非参加してください。

日時:2008年6月4日(水) 午後7時～  
場所:松阪市民活動センター 大会議室

## 20年度市民活動センターの取組み

松阪市民活動センターは、県内で最多の登録団体を持つ施設に成長いたしました。日頃の皆様のご指導ご利用のおかげと、改めて感謝申し上げます。指定管理者である特定非営利活動法人Mブリッジとしましては、多くの皆様にご利用いただけるようになるまで様々な工夫を重ねてまいりました。イラストやデザインを再検討し、市民活動等をさらに解りやすく伝える取組みや、各種行事でチラシ配布を実施するPR活動も地道に取り組みました。また、松阪ケーブルテレビとの連携により、独自で撮影・編集する番組「だから、市民活動!」で団体紹介等のサポートも実施。この地域メディアとの連携は、取材先だけでなく視聴者からも喜んでいただいています。文章や写真だけでは伝わりにくかった市民活動の魅力も、映像と音声で伝わりやすくなったと好評です。さらに、数々の事業と企画で施設の認知度も上がりました。これは私どもが「地元・松阪のNPO法人である」という使命感からサービス向上を重ねてきた結果と自負しております。20年度も分野等に偏りなくサポートを進め、快適な施設であるよう努めます。引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

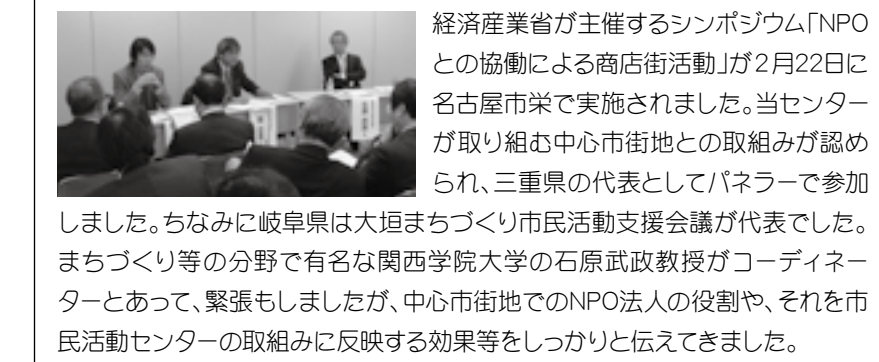
●**アピール・サポート推進計画(通称:「アピ×サポ計画」)**  
「アピールする団体」と「サポートする支援者」の連携を推進する取り組み。市民活動団体が企業、地域などと連携するきっかけづくりの役割も担う。  
●**その他** アンテナ掲示表示、登録団体交流会など

●**団体育成事業**  
・**ボランティアなんでも相談**  
ボランティアやNPOにまつわるあらゆる相談を随時承る。NPO法人設立やボランティア活動を始めたい方へのアドバイスなど。  
・**情報図書館「作ろう みんなの“書籍の森”」**  
センター内に常設の情報図書コーナー。公立図書館では蔵書が少なめのNPO、ボランティア、市民活動、街づくりにつながる書籍をセンターで収集し、市民活動団体に活用いただく。寄贈の呼びかけも引き続き実施し、書籍をリサイクルしながら次世代の活動団体を育成する役割もある。

●**市民活動およびセンターPR事業**  
・**その他**  
コミュニティビジネス推進、各種講演会、スキルアップ講習会 リユースパソコン寄贈プログラム、CSRレポートの収集 市民活動情報サイト活用のアドバイスなど

●**地域メディアとの連携**  
松阪ケーブルテレビと連携し、番組「だから、市民活動!」を独自に制作し放映。広がりにくかった市民活動を広域で伝える役目として地域メディアと連携する。  
●**その他**  
広報紙発行、企業等の社会貢献活動の推進 リニューアルした「街の小さなギャラリー」の推進 松阪商工会議所・大学・企業などとの連携、インターンシップ受け入れ 地域の祭りへの参画、市民活動およびセンターのPR活動、NPO川柳など

## 経済産業省のシンポジウムがご縁となり...



経済産業省が主催するシンポジウム「NPOとの協働による商店街活動」が2月22日に名古屋市栄で実施されました。当センターが取り組む中心市街地との取組みが認められ、三重県の代表としてパネラーで参加しました。ちなみに岐阜県は大垣まちづくり市民活動支援会議が代表でした。まちづくり等の分野で有名な関西学院大学の石原武政教授がコーディネーターとあって、緊張もしましたが、中心市街地でのNPO法人の役割や、それを市民活動センターの取組みに反映する効果等をしっかりと伝えてきました。

そのパネラー報告に興味を持たれた大垣の皆さんが当センターを視察に見えましたよ。「これ以降も県域を越えて情報交換しましょう」とお約束しました。当センターとしても大垣から学ぶ点は多くあり、参考にさせていただきます。新たな出会いは刺激になります。

## 20年度センター運営委員の皆様をご紹介します。

(登録番号順).....

防災ボランティアネットワーク松阪	堀端 脩さん
松阪市商店街連合会	宮村 元之さん
嬉野生活ネットピア	鈴木 博さん
エイサーまつさか八部衆	長谷川隆司さん
そよかせ会	角 喜久子さん
劇団ミュージカルBeOne	堀 まりさん
松阪甚句・吟詩会	井坂 直興さん
NPO法人チャレンジスクール三重	玉村 典久さん
松阪年金者組合	内田 圭子さん
三重県郷土資料刊行会	倉田 正義さん
UDうれしの	安部 悦子さん
松阪点訳友の会	高瀬 邦生さん
松阪市総合政策部まちづくり推進課課長	大山 睦夫さん

- 委員の皆様にはセンター運営に関する重要事項(※1)の承認やアドバイスをいただきます。1年間よろしくお願ひいたします。
- ☑センターの運営に関する重要事項??
- ①利用料金
  - ②開館時間
  - ③休館日
  - ④団体の登録及び取消し等

●**センター長の独り言**  
本年度は値上げの話ばかりですわね…。牛乳は3～7%、醤油は10～17%の値上げとのこと。電気やガスも値上がり…。コリヤク酒ですなあ…。ちなみにビールは3～5%増ですよ。トホホ。